



福岡県児童生徒



発明くふう展 入賞



福岡県児童生徒発明くふう展に出品し、見事入賞を果たした小学生達が市長を表敬訪問しました。応募総数33件のうち、11件が直方市からの出品、その中で4つの作品が入賞しました。なかでも、最高位の福岡県知事賞を受賞するのは直方市では初。福岡県知事賞を受賞した直方南小学校5年生(当時)の加藤聡一郎さんは、「夏にエアコンが壊れてしまって、どうしたら家族全員が涼めるのか考えた結果、360度風がでる扇風機を思いつきました。使っているものも100円ショップで手に入るものや、トイレットペーパーの芯等です」と作成した扇風機を分解して、それぞれの部品が何に使われているのか詳しく説明していました。

戸次さんは、使用したペットボトルを再利用して、トイレット

発明協会会長奨励賞
トイレトペーパーホルダー
植木小学校2年(当時)
戸次菜奈美さん



福岡県知事賞
360°風が出る扇風機
直方南小学校5年生(当時)
加藤聡一郎さん



奨励賞
暑い! 温暖化を止めよう。
新入小学校6年(当時)
吉野愛菜さん



奨励賞
おすもうたいけつ!
直方北小学校1年生(当時)
細川綾斗さん



トペーパーを取りやすくするト
イレトペーパーホルダーを作
成したと説明していました。
細川さんは、テーブルの端を
たたいて、テーブルの上の相撲
の人形を競わせていました。
吉野さんは、太陽光パネルを
使用した電池で花火型に設置
したライトを光らせ、夜空に咲
く花火を表現していました。
作品の説明を聞いた大塚市
長は「直方市初の県知事賞受
賞、並びに入賞、おめでとうご
ざいます。とても思いつかない
ような素晴らしい作品ばかりで
非常に驚いています。今後の創
作活動も期待しています」と激
励しました。
また、加藤さんの作品は全日
本学生児童発明くふう展の書
類審査を通過し、1月に実物審
査、最終審査と駒を進め、見事
入賞することができました。